

この世界には  
ロマンがある

マンガ  
最終回

筋肉パ  
は  
好かれたい!!

お父さん、  
いっぽ  
踏み出す

LINE

宗像市市民活動・NPOセンター  
LINE公式アカウントはじめました  
友だち募集中!



目からの  
うろこ

地域社会とのつながりを  
大切にするTOTO株式会社

▶ひととまちとの交差点Vol. 18

▶ふらぐニュース

▶読者の声コーナー





# キャラクター紹介



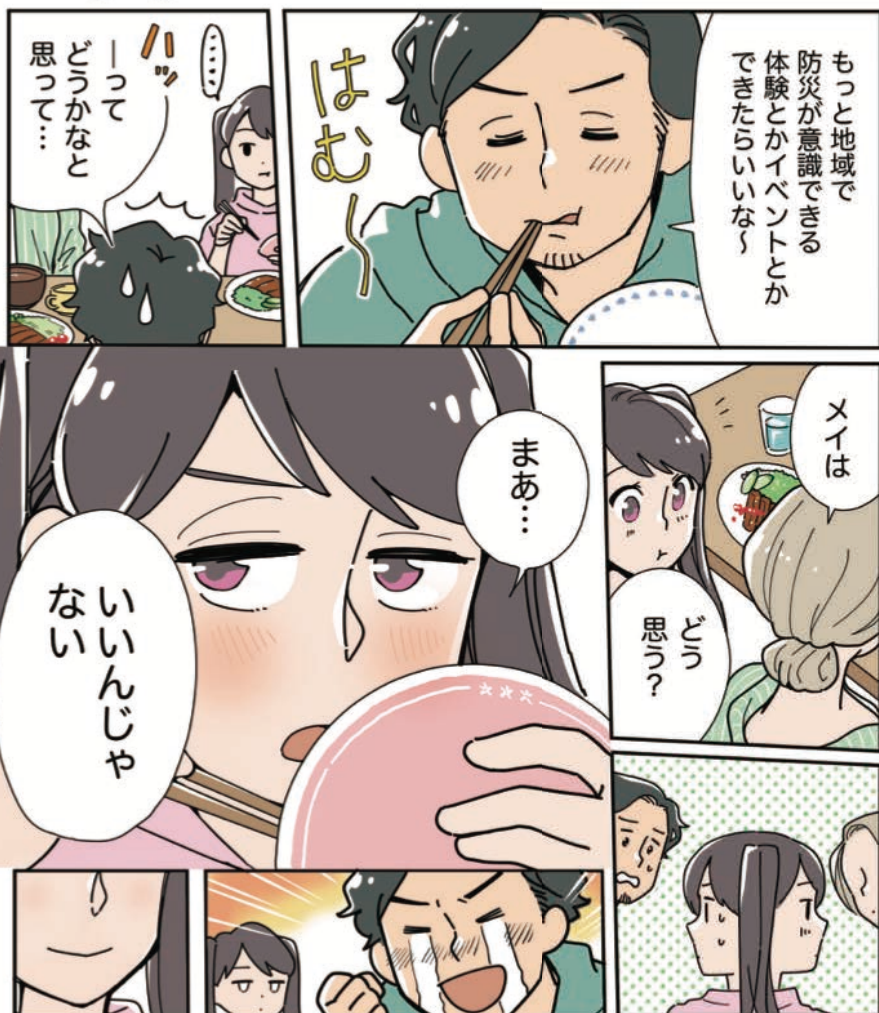
久原すなお…娘に好かれたいお父さん。最近では友達が増え、何だか楽しそう。



久原メイ…父親がうざったい中学2年生。最近では少しウザさが物足りない…?



ママ…影は薄いけど、キャラは濃ゆそう。





# NPOセンター インフォメーション

## Well-being (ウェルビーイング)

ウェルビーイングは「健康・幸福」などに直訳されます。その言葉は、1946年世界保健機関（WHO）が設立したときに初めて登場しました。そこでは「健康は、病気ではないとか、弱っていないということではなく、肉体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態にあること（日本WHO協会訳）」と定義されています。家庭や仕事の充実だけでなく、地域や社会とつながるとウェルビーイングな人生を得やすいと言われています。

## 宗像市 市民活動・NPOセンター

メイトム宗像にある市民活動・NPOセンターでは市内で活動する市民活動団体や個人の方のサポートをしています。

### 市民活動に関する窓口相談

団体の設立相談や、宗像市市民活動団体の登録手続きをサポートしています。「これって市民活動？」ということでもOK。気軽にご相談ください。



### 団体活動のサポート

団体の運営に役立つ講座やまちづくりに関するイベントなどを開催。情報発信のサポートも行っています。



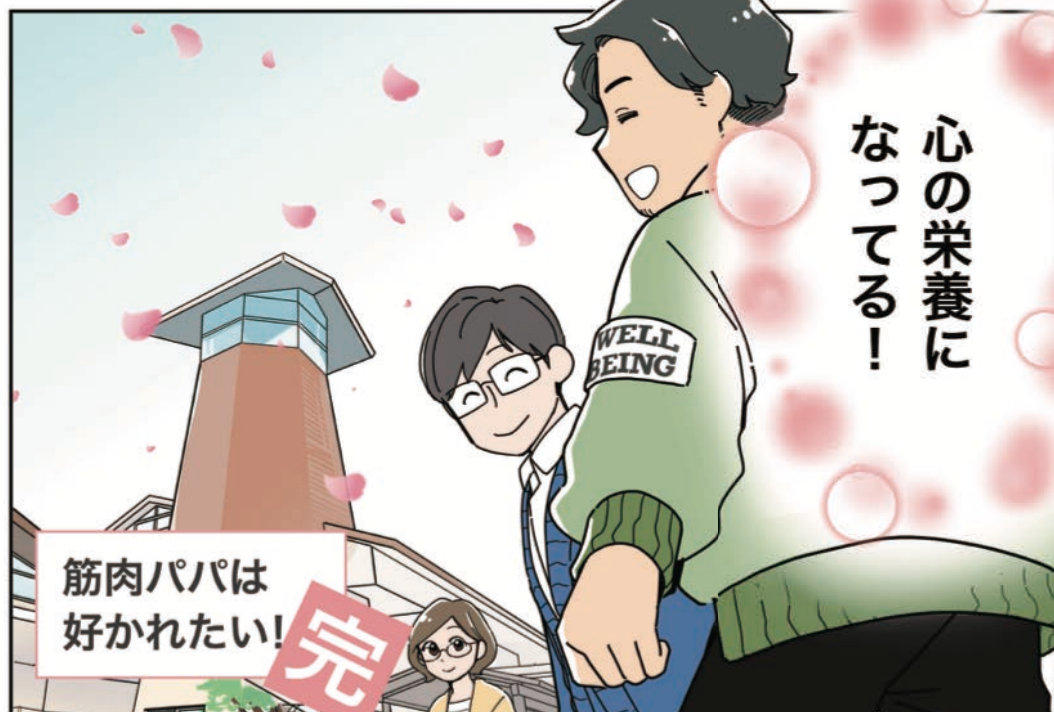
講座やイベントの  
開催レポートはこちら



### 問合せ先

宗像市 市民活動・NPOセンター  
[運営] 一般社団法人 PENTAGON  
TEL: 0940-36-0311 (平日9:00~17:00)  
MAIL: info@pentagon67.com

これまでの漫画は裏面の  
ふらぐバックナンバーから読めます







「フリースペース×みんな食堂」  
HPはこちら



フリースペース。大学生と一緒に自由な時間を過ごす



みんな食堂。みんなで食べるおいしい夕食

Vol.18

# ひとまち交差点

宗像のまちで秘かに活動する魅力的な人。  
その「ひと」が「まち」と出会い、交わるきっかけを、  
ふらぐ編集部のアンドウが取材してきました。



ふらぐ編集部  
アンドウ

大学生ボランティアとして熱心に活動し、

NPO法人の子どもの居場所づくり事業にも  
取り組む新福さんにお話を伺いました。

**アンドウ：子どもの支援や教育に関心を持ち始めたのはいつ頃からですか？**

**新福さん**：中学生の時、同じクラスに難聴の友達  
がいたことがきっかけで、初めて障がいのことを  
知りました。中学校の特別支援学級の先生が  
手話でお話をしている姿を見て、かついいなと  
憧れたのを覚えています。その頃から障がいのあ

る子の支援に少しずつ興味を持ち、高校生の時  
には特別支援学級の先生になりたいと将来の夢  
を決めていました。そして、福岡教育大学へ進  
学。大学1年生の6月から、NPO法人メイク

ハッピー&ピースの放課後等デイサービスで、障  
がいのある子の療育や学習支援のボランティアに  
行き始め、今も週3〜4日行っています。また、  
不登校の子どものための日中の居場所「フリース

ペース」にもボランティアスタッフとして関わって  
いました。

**アンドウ**：あることがきっかけで将来の夢が変わっ  
たそうですね。

**新福さん**：はい。障がいのある子や学校になじめ  
ない子など、ボランティア活動を通してさまざま  
な子どもたちと出会い、接してきました。その経

験と『学校の「当たり前」をやめた。』(※)という  
1冊の本をきっかけに価値観がガラッと変わった

んです。普通の学校で当たり前とされていること  
を当たり前としない新たな学校、多種多様な学  
びの場があることを知り、新しい子どもたちの居場所  
の必要性を強く感じるようになりました。それ  
まで学校の先生になりたいと思っていたけど違  
う、と気づいたのは大学2年生になる少し前のこ  
とでした。

**アンドウ**：2022年から新福さん主導でメイ  
クハッピー&ピースの事業「フリースペース×み  
んな食堂」をスタートされましたね。

**新福さん**：「フリースペース」は、コロナの影響で  
2020年から閉鎖されたままだったので、これ  
は自分がやるしかないと思って再開。また、大学2  
年生から行き始めた遠賀郡岡垣町にある「ここ  
る食堂」のボランティアを機に、自分もいつか子ど  
も食堂をやりたいと思っていた。それが、たくさん  
の方に支援していただくことで「みんな食堂」とし  
て実現できました。宗像市内の子どものたちが気  
軽に立ち寄ることができて、人とのつながりや温  
もりを感じられる居場所にしたという想いで活  
動しています。

**アンドウ**：新福さんがボランティア活動を通して  
学んだことは何ですか？

**新福さん**：僕はこれからやりたいことが数え切  
れないくらいあります。自分1人じゃ全部でき  
ないけど、周りの人の知恵や力を借りれば実現  
できる。そのことに気づくことができました。「フ

リースペース×みんな食堂」は、大学を卒業した  
らこれまでのように関わることができないかも  
しれない。だから、市内にある大学の教授や学生  
さん達と一緒に運営していく仕組みが作れたら  
いいなと考えています。自分で始めた活動なの  
で、責任をもって続けていきます。

**アンドウ**：今後はどのような活動をしたいと考  
えていますか？

**新福さん**：実はもう動き出しています。野外教  
育として子どもたちをキャンプに連れていきたく  
て、大学の仲間と新しい団体を立ち上げまし  
た。僕は子どもが大好きで、子どもたちの笑顔  
が何よりも嬉しい。だから、困っている子がいた  
ら助けてあげたいし、喜んでくれるんだったら  
もっと楽しませたい。これから子どもたちが  
自由にできる居場所、なりたい自分になれる居  
場所を作っていきたいですね。

**あなたにとっての  
交差点は、どこですか？**

**“**  
たくさん子どもたちとの  
出会いから、自分のやりたい  
ことに気づいたこと  
**”**

しんぶく  
**新福 響さん**  
福岡教育大学 教育学部 4年生



北九州市出身、宗像市在住。大学進学後、NPO法人メイクハッピー&ピースでボランティア活動を始め。「やりたいことは自由に何でもやっていい」という両親の教えが、何事もポジティブに考え、行動する原動力になっている。

※工藤勇一著  
『学校の「当たり前」をやめた。  
生徒も教師も変わる！  
公立名門中学校長の改革』

# 地域社会とのつながりを 大切にするTOTO株式会社

地域に根を下ろす組織として、市民活動団体と共に社会や  
地域課題の解決に取り組む企業がある。CSRの一環で  
社会貢献に力を入れているTOTO株式会社取材した。



ふらぐ編集部  
しぎょう

## 企業の社会貢献活動

戦後の高度経済成長期を支えてきた数多くの企業は、国民の需要を満たし、インフラを整え、確実に私たちの暮らしを豊かにしてきた。しかし、CO<sub>2</sub>の排出は地球温暖化を加速させ、食品偽装など企業の信用が揺らぐ問題が発生すると、企業は地球環境や社会への責任について問われるようになった。環境問題の深刻化に加え、グローバル化によって企業が影響を及ぼす範囲が広がったことを受けて、近年では世界中で企業のCSRの推進が加速してきている。

CSRとは「企業の社会的責任 (Corporate Social Responsibility)」のことをいう。企業など全ての組織が取り組む義務があり、事業活動や利害関係者との関係づくりの中に社会や環境への配慮を組み入れることが求められている。

CSRにはさまざまな活動があるが、日本は海に囲まれ水の恩恵を受けていることから、工場から出る有害な煙や汚水を減らす活動や、森林伐採を行った山に苗木を植える活動など、「環境保護」の分野に取り組む企業が多いのが特徴である。CSRを進める多くの企業の中で、環境保護の他、地域貢献などさまざまな社会貢献に力を入れているTOTO株式会社に

話を伺った。

## TOTO株式会社が 取り組む社会貢献活動

TOTO株式会社(以下、TOTO)は大正6(1917)年に創立。北九州市小倉北区に本社を置く、福岡の老舗企業だ。衛生的な生活文化を広めたいとの思いで国産初の腰掛式水洗便器を開発し、現在では洗面化粧台やシステムキッチンの開発など、18の国や地域において快適で機能的な水まわり商品の事業を提供するグローバル企業である。

CSRの一環として、経営資源を有効活用して水環境の保全や次世代育成などのさまざまな社会貢献・地域共生活動に力を入れる他、「ボランティアに参加することは『人づくり』につながる」として、社員のボランティア活動への参加も推奨している。「環境の分野に関わらず、登下校時の児童見守り、献血やヘアドネーション、地域の子どもたちのクラブ活動のサポートなど、一見すると趣味の延長じゃないかと思われるようなことでも幅広く社会貢献として評価しています」と話すのは社会貢献・地域共生部事務局の桑野さん。TOTOでは各事業所で毎月決まった日の朝に地域清掃を行っている。「登校や

出勤時間と重なることもあって、地域住民の方に『いつもありがとう』と感謝の言葉をいただくこともあります。また小学生から『頑張ってください!』と応援された社員が『さすがに気持ちになった』と言っていました」と笑みを浮かべた。

社会貢献活動をした社員にはポイントが付与され、獲得したポイントが一年間で一番多い社員はボランティアマイスターとして表彰されるなど、TOTOには積極的に社会課題に貢献する社員や事業所を賞賛する仕組みがあるという。

## 市民活動団体を支援する 「TOTO水環境基金」

TOTOの社会貢献事業の一つに「TOTO水環境基金」がある。国内では地域に根差した水に関わる環境活動を行う団体を、海外では途上国の課題解決に取り組む団体を支援する助成金だ。設立してから令和4年度までに累計292団体、4億円以上を支援してきた。全国の事業所には助成先団体と連絡調整を行うボランティア推進委員が設置されており、事業所含めTOTOグループ全体へボランティア情報を発信したり、取りまとめを行ったりして

## プロフィール

### TOTO株式会社

社会貢献・地域共生部 事務局／桑野将和さん・河村泰三さん  
ボランティア推進委員／植木佳津江さん

総務本部としてCSRの推進や「TOTO水環境基金」の事務局を担う。助成先団体との連絡・活動調整や社内へのボランティア活動情報の発信、ホームページ管理など幅広く対応している。



左から桑野さん、植木さん、河村さん



いる。

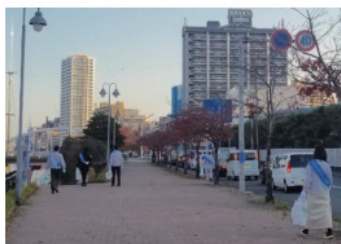
宗像に拠点を置く認定NPO法人改革プロジェクトはTOTO水環境基金を数年活用している市民活動団体の一つ。これまで海岸清掃活動や、子どもたちが海や自然について学ぶことができる環境教育プログラムなどを開催してきた。ボランティア推進委員の植木さんは、「改革プロジェクトさんが開催する海岸清掃活動は参加する社員やグループ関係者から好評で、次回開催の時にも声をかけてほしいと要望が寄せられています」と話す。改革プロジェクトの代表・立花祐平さんは「TOTO水環境基金は他の助成金に比べて活動報告にかかる事務作業が省略されていて、とても活動しやすいと感じています。社員の方も家族を連れて、毎回60人以上参加してくれるので、励みになっています」と言う。アンケートによると社員の5人に1人は助成先団体によるボランティア活動に参加したことがあり、全体の6割が今後の参加に意欲を示していることから、社員のボランティア活動に対する意識が高いことがうかがえる。河村さんは「休日に朝早く起きないといけない時は正直辛いな、行きたくないな、と思うんですけど、海岸でごみ拾いをするのが気持ちよくて、終わる頃にはやってよかったなって毎回思います」と本音を語ってくれた。

## 仕事を通して地域とつながりをもつこと

ボランティアや社会貢献活動への参加は個人の意識によるところが大きく、本業を疎かにできない中で社会貢献に意識を向けるのは難しいというのが働き手の現状だ。そんな状況でも

ボランティア活動に意欲的に参加しているTOTOの社員は、活動の中に達成感や心地よさなど、何かしらの充実感を見出しているのかもしれない。

企業がCSRを通して社員に地域貢献やボランティア活動に参加する機会を作ること、社員にとって地域社会に目を向けるひとつのきっかけになるかもしれない。そして、地域に仕事や家庭以外のつながりが生まれてくると、休日や退職後などの余暇はきつとやりがいや生きがいに満ちたものになるだろう。まずは身近な地域に目を向けることから始めてみてはどうだろうか。



月に一度行う就業前の地域清掃



どんぐりの森の保全活動の様子



助成先団体と一緒に海岸清掃。参加者全員で集合写真

## Furagu News

申請  
開始!

### 令和5年度宗像市 人づくりでまちづくり事業補助金

子育て支援、環境保全、健康づくり、スポーツ振興、国際交流など、各種分野で人材育成や協働によるまちづくりにつながる活動を支援する補助金です。

**補助金の種類** 自由提案型事業 / 行政テーマ型事業 / チャレンジ支援型事業

**申請期間** 4月3日(月)から4月17日(月)17時まで

**対象** 市内に活動拠点を有し、3人以上で構成する市民活動団体

**提出先・問合せ先** 宗像市市民活動・NPOセンター(メイトム宗像内)  
TEL: 0940-36-0311(受付時間9時~17時、土日祝日は除く)

※申請を希望する団体は、事前にご相談ください



母と子のサロンつむぎによる味噌作りイベントの様子

詳細はこちら



## 読者の声コーナー

みなさんから寄せられたさまざまな質問に、ふらみ先生が答えます!



団体を立ち上げたばかりで活動資金の調達に悩んでいます。何か活用できる補助金がありますか?



質問者

宗像市には市民活動団体を応援する「人づくりでまちづくり事業補助金」などがあります。左記を参考にしてください。また最新の助成金情報などは福岡県NPO・ボランティアセンター※のホームページに掲載されています。右のQRコードから情報が見れますよ。

※令和5年4月3日から「コラボステーション福岡」に名称が変わります



ふらみ先生



みなさんからの声を募集しています。  
ふらみ先生が質問に答えてくれるかも?

【ふらぐの由来】「ふらぐ」は旗印。この旗の下に集い、繋がろう!という意味が込められています。



PENTAGON 宗像



<https://pentagon67.com>

ふらぐバックナンバーはこちらから!

